

# Info!

## Contents

---

異動等に伴う情報環境利用に関する各種手続きのご案内	2
一生使えるメールアドレス 『生涯メールサービス』いよいよスタート!!!	5
無線LANみあこネット (MIAKO) サービス終了	7
KUINS無線LANサービス	7
包括ライセンス契約に基づくMicrosoft社主要製品の販売価格の決定	9
マイナンバーの提供にご協力ください	10
自分好みのメニューを作ってみませんか? (教職員ポータル)	12
サーバ預かりますーハウジングサービス	14
EDUCAUSE2015参加レポート	16
AXIES年次大会参加報告、次回は京都で開催予定 ～大学のICT利活用の最先端がわかる～	17
講習会情報	19
セキュリティの話題から (第7回) 「研究室・職場を離れる前の身辺整理、パソコンの中は大丈夫?」	20

---

## 異動等に伴う情報環境利用に関する各種手続きのご案内

年度末・年度始めは異動の時期です。

卒業・修了される学生の方、退職・転出・学内異動される教職員の方に気をつけていただきたいこと、確認いただきたいことをまとめました。ご一読いただき、対応をよろしくお願いいたします。

### ■アカウント・メール関係

#### ●学生の方へ

(1) 3月で卒業、修了、退学等で京都大学を離れられる学生の方

ECS-ID(学生アカウント)およびKUMOI(学生用メール)は、京都大学に籍がなくなった時点でご利用いただけなくなります。3月31日までに以下の準備をしてください。

#### ① 必要なファイルのバックアップ

教育用コンピュータシステムのPC端末にログインし、必要なファイルをUSBメモリに保存してください。CDやDVDには保存できません。

#### ② 必要なメールのバックアップ

KUMOI(学生用メール)は、以下の方法でバックアップできます。

- ・一般的なメールソフトでご自身のPCにデータを取り込む
  - ・Gmailなどのメールソフトにご自身のアカウントを作成して、メールのデータを読み込む
- 次のFAQ(<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/faq/mail/kumoi/>)をご覧ください
- ・学生用メールをメールソフトで利用したい
  - ・学生用メールに保存されているメールをGmailやHotmailに取り込みたい

#### ③ KUMOI(学生用メール)の転送設定

メールの転送先を設定しておけば、KUMOI(学生用メール)のメールアドレスに届いたメールは、利用停止後90日間は、転送先メールアドレスに転送します。転送設定は、京都大学学生アカウント管理(<https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp/>)の「学生アカウントなど設定変更(パスワード、全学メール転送設定などの変更)」から行ってください。

#### ④ 生涯メールアドレスの転送先設定の確認

下記URLにアクセスして、メニュー「登録情報の変更」から生涯メールアドレスとパスワードでログインし、転送先メールアドレスを確認・設定変更してください。

京都大学生涯メールサービス：<https://www.lm.iimc.kyoto-u.ac.jp/kulml/>

#### ⑤ 新メールアドレスを関係者に通知

メールアドレスが変わることをご自身の関係者に知らせておいてください。

(2) 3月で卒業、修了、退学等後、引き続き京都大学に在籍される学生の方

- ① 進学・転学部・転学科など引き続き学生として京都大学に在籍するが身分が変わる場合(学部生→院生、院生→研究生、研究生→院生など)は、同じECS-ID(学生アカウント)及びKUMOI(学生用メール)アドレスをそのままご利用いただけます。この場合は、手続き不要です。

- ② 学生の身分から学術振興会特別研究員 (PD) や研修員などに身分が変更になる場合は、資格変更の手続きが必要です。5月から6月にかけてKUMOI (学生用メール) でお知らせしますので、案内が届きましたら資格変更の手続きをしてください。
- ③ 京都大学の教職員になられる場合 (学外非常勤講師を除く)  
 京都大学の教職員には、SPS-ID (教職員アカウント) が発行されます。着任の際に事務の担当者から交付されますので、以降はSPS-IDをお使いください。ECS-ID (学生アカウント) およびKUMOI (学生用メール) は利用できなくなりますので、上記の (1) の①から⑤の処理をしておいてください。

## ●教職員の方へ

### (1) 退職、学外への異動の場合

教職員 (学外非常勤講師を除く) のみなさまには、SPS-ID (教職員アカウント) とKUMail (教職員用メール) アドレスを発行していますが、SPS-IDは、本学での籍がなくなった時点で失効しますので、Webでのログイン、一般的なメールソフトでの送受信ができなくなります。SPS-IDが失効する前にメールを保存して、新しいメール環境に移行できるよう準備してください。

SPS-IDが失効する前に転送先メールアドレスが確定している場合は、メール転送の設定を行っておけば、90日間は転送先アドレスに転送されます。メール転送画面の上部にある「転送メールを自分のフォルダに残す」にチェックすれば、メールを転送後もKUMailにメールが残ります。

もし、SPS-ID失効前に転送先アドレスが確定していない場合は、その旨記載のうえ [kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) までメールでご相談ください。

### (2) 退職後名誉教授になられる場合

名誉教授の先生方には申請に基づいてECS-ID (学生アカウント) を発行しています。

このECS-IDを取得することで、京都大学発行のKUMOI (学生用メール) やネットワーク、図書館サービスが利用可能です。また、一度取得されると年度更新の手続きは不要で、生涯にわたってご利用いただけます。現在お使いいただいているKUMail (教職員用メール) のメールアドレスの移行先、転送先としてご利用ください。※名誉教授の先生方については、お申し出いただければ、KUMailの転送期間を原則として1年間まで延長できるようになっています (転送先はKUMOIのアドレスに限ります)。ご希望の場合は、6月28日 (通常の転送期間が切れる日) までに [kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) まで以下の事項をご記入のうえメールでご連絡ください。

- ・お名前
- ・連絡先 (教職員用メールアドレス)
- ・転送先 (学生用メールアドレス)
- ・理由
- ・延長を希望する期間

### (3) 学内の異動で、本学との雇用関係が継続する場合は、引き続き同じSPS-ID (教職員アカウント) とKUMail (教職員用メール) をご利用いただけます。

### (4) その他、学外非常勤講師、学振特別研究員、研修員、受託研究員、民間等共同研究員などになられる場合は、申請していただくことで、ECS-ID (学生アカウント) を発行しています。詳しくは情報環境支援センターまでお問い合わせください。

## ■ネットワーク関係

- KUINS-IIのホスト、KUINS-IIIのVLANの「管理責任者」「支払責任者」「連絡担当者」になっている方が異動等で所属が変更になったり、又は退職等で本学の教職員でなくなったりする場合は、対象となるネットワークの構成内容・管理について後任の方に引き継いでいただく必要があります。

異動等により所属が変更になったのに旧所属のVLANやホストの責任者として登録されたままになっていると、旧所属部局のネットワークにおける障害発生の連絡や利用負担金の請求が、新所属の方へ行ってしまうことが考えられますのでご注意ください。

現在ご自身が管理者等になっているかどうかについては、KUINS-DBにアクセスすると確認いただけます。  
KUINS-DBへのログイン方法

教職員グループウェア (<https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/>)

＞業務リンク＞ネットワーク申請等 KUINS接続機器登録データベース

### ●変更の手続き

- ・KUINS-III VLAN、KUINS-II ホスト、ドメインについては、KUINS-DBから各種責任者の変更申請をしてください。
- ・KUINS-IIサブネットのサブネット連絡担当者変更については、[q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp](mailto:q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp) までメールでサブネット連絡担当者の変更依頼をしてください。

また、異動後には、[KUINS接続機器登録データベース]⇒[ユーザ情報]でデータベースの登録内容に新所属が反映されていることを確認し、[編集]で「電話番号」等の項目を変更していただきますようお願いいたします。

## ■ホスティング・ホームページサービス

### ●平成27年度で利用を停止される場合

3月末までに「サービス申請負担金システム」にて停止手続きを行ってください。

この場合、利用者(申請者)、支払責任者及び経理責任者の三者間で、利用停止される旨の情報共有をお願いいたします。

サービス申請負担金システム：<http://sabs.iimc.kyoto-u.ac.jp>

### ●平成28年度も継続利用される場合

利用停止手続きをされない限り、自動的に継続利用となり、利用者(申請者)、支払責任者、支払種目などの情報はそのまま引き継がれます。現在の登録情報は、「サービス申請負担金システム」で確認いただけます。

利用者(申請者)の方が平成27年度末で退職・異動等される場合は、後任の方に引き継いでいただく必要があります。また、支払責任者・支払費目に変更が生じる場合も手続きが必要です。退職日(異動日)までに必ず下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

この場合も、利用者(申請者)、支払責任者及び経理責任者の三者間で、継続利用される旨の情報共有をお願いいたします。

連絡先：[whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp](mailto:whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp)

## ■ハウジングサービス

3月上旬に、申請代表者及び連絡責任者の方へ「ハウジングサービス利用申請書」をお送りしますので、ご確認・ご記入の上、3月末までに学内便で情報環境支援センターまでご提出ください。

(情報環境支援センター)

## 一生使えるメールアドレス『生涯メールサービス』いよいよスタート!!

このたび、本学と卒業生・修了生の方との情報交換や、同窓生等の相互の交流促進、同窓会を介した社会連携体制の強化等を目的として、「生涯メールサービス」を2月から開始しました。

### ■生涯メールサービスの概要

生涯メールサービスは、無料のメール転送サービスです。

京都大学の学部・研究科の正規生として在籍している方、在籍したことのある方を対象に、シンプルなドメイン名の生涯メールアドレス「@kyoto-u.jp」(acは付きません)を提供します。このメールアドレスは転送専用ですが、大学を離れてからも生涯にわたってご利用いただけますので、卒業後も同窓生相互のコミュニケーションチャネルとして利用することが可能です。また、大学や同窓会からのイベント案内などのお知らせが届きます。

生涯メールサービス URL：<https://www.lm.iimc.kyoto-u.ac.jp/kulml/>

在学生に提供している学生用メール(KUMOI)と生涯メールとの違いを以下にまとめました。

	生涯メール	学生用メール(KUMOI)
対 象 者	京都大学の学部・大学院に正規生として在籍したことのある方	在籍している学生などでECS-IDを保有している者
利 用 期 間	入学後から生涯にわたって	在籍している期間のみ
メールアドレス形式	kyodai.tarou.23e@kyoto-u.jp	kyodai.tarou.23e@st.kyoto-u.ac.jp
機 能	転送機能のみ ※スプール機能(メール保管場所)はありません。	ウェブメールやメールソフトでの送受信など、すべてのメール機能
主 な 用 途	キャンパスライフに限らない長期的な連絡先	京都大学での教育研究や在籍期間の活動での連絡先
利 用 例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会への通知、論文投稿など</li> <li>・学友等への生涯にわたる連絡先</li> <li>・出身の学部・研究科からの連絡</li> <li>・京都大学からの連絡 (お知らせ、同窓会、イベント案内など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でのレポート提出など</li> <li>・京都大学からの重要通知、災害時安否確認など</li> <li>・就職活動など</li> </ul>

### ■生涯メールアドレスの利用のためには

生涯メールサービスは転送専用のサービスですので、生涯メールアドレスを有効なものとするためには、転送先のメールアドレスを登録しておく必要があります。この転送先メールアドレスを登録するために必要となるのが「有効化キー」です。

サービス開始時の2016(平成28)年2月は、学部・研究科に在籍している正規生全員にKUMOI経由で「有効化キー」をお知らせしました。今後は、毎年4月および10月に新入生の方に「有効化キー」をお送りします。

「有効化キー」を受け取ったら、全学生共通ポータル「生涯メール」から生涯メールサービスのメニュー画面に進み、「生涯メールアドレスを有効にする」(有効化)を選択して、「有効化キー」を入力の上、パスワードや転送先メールアドレスの設定を行ってください。設定が完了すれば、利用可能となります。



## お知らせ

# 無線LANみあこネット (MIAKO) サービス終了について(再掲)

Info! 第5号でもお知らせしましたように、無線LANの“みあこネット (MIAKO)”は、本年2月末をもってサービスを終了いたします。皆さま方には長らくご利用いただき、ありがとうございました。

今後、無線LANをご利用の場合は、学内の方は KUINS-Air (後述) を、学外の方は eduroam (後述) をお使いください。

## サービス紹介

### KUINS無線LANサービス

#### ■KUINS-Air

KUINS-Air は、みあこネットの後継として昨年度から開始しているサービスです。ご利用の際には、「KUINS-Air」と表示されたSSIDを選択し、ECS-ID (学生アカウント) またはSPS-ID (教職員アカウント) でログインしてください。

VPN接続 (PPTP) の設定をしなくても学内限定コンテンツの閲覧が可能です。必要に応じて、PPTP固定VLAN接続をはじめとするVPNサービスもご利用いただけます。

OSごとの接続方法 ▶ [http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/kuins-air\\_1.html](http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/kuins-air_1.html)

よくある質問 (無線LAN) ▶ <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/faq/network/wifi/>

#### ■eduroam

eduroamは、国内外の大学等教育機関の間での無線LANローミング (相互利用) 環境を提供するサービスです。ご利用の際には、「eduroam」と表示されたSSIDを選択し、eduroamアカウントまたはビジター用アカウントでログインしてご利用ください。

OSごとの接続方法 ▶ <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/eduroam.html>

よくある質問 (無線LAN) ▶ <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/faq/network/wifi/>

#### [eduroamアカウント]

eduroamアカウントは、京都大学だけでなく、eduroamに参加している国内外の大学等教育機関でも利用できるアカウントです。京都大学構成員の方は、次のURLにアクセスし、ECS-ID又はSPS-IDでログインして、取得してください。

eduroam仮名アカウント発行システム ▶ <https://eduroamshib.nii.ac.jp/>

#### [ビジター用アカウント]

ビジター用アカウントは、一時的にKUINSをご利用いただくためのアカウントで、SPS-IDをお持ちの教職員であれば教職員グループウェアより取得できます。

教職員グループウェア <https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/>

業務リンク > ネットワーク申請等 > KUINSビジター用アカウント発行システム

## KUINS-Airステッカー

KUINS-Airが使える場所の目印となるようKUINS-Airのステッカーを作成しました。キャリアWiFi用ロゴ入りの大小と、キャリアWiFi用ロゴなしの大小の4種類あります。貼り付けのお願いをしました際にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご連絡いただきましたら学内便で送りますのでサイズと枚数をお知らせください。

※ご連絡先:お問合せフォーム ▶ <https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/inquiry/?q=network>



また、下記にステッカーのデータを掲載していますので、ダウンロードしてお使いいただくこともできます。  
<http://www.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/kuins-air-sticker-data>

(石橋 由子:情報環境機構IT企画室/企画・情報部情報基盤課情報基盤主査)

**お知らせ**

# 包括ライセンス契約に基づくMicrosoft社主要製品の販売価格が決定しました

前回、「info!」 No5にて、京都大学とMicrosoft社が包括ライセンス契約を締結し、京都大学生協同組合（以下、「生協」という。）に販売業務を委託して学内で販売する旨のお知らせをしましたが、以下のとおり各製品の価格が決定され、販売を開始しておりますので、お知らせいたします。

## ■京都大学Microsoft包括ライセンス【公費ライセンス】価格表

(税込価格)

製品 カテゴリ	商品名	利用年数				
		単年度※1	1年	2年	3年	4年
Office 製品	Office Professional	4,644	4,644	9,288	13,932	18,576
	Office Standard	4,320	4,320	8,640	12,960	17,280
	Office for Mac	4,320	4,320	8,640	12,960	17,280
	Office Word	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Excel	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office PowerPoint	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Outlook	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office OneNote	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Publisher	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Access	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office InfoPath	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Word for Mac	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office Excel for Mac	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
	Office PowerPoint for Mac	1,620	1,620	3,240	4,860	6,480
OS 製品	Windows 8.1 Upgrade	3,240	3,240	6,480	9,720	12,960
	Windows 10 Upgrade	3,240	3,240	6,480	9,720	12,960

Professional版に含まれる  
ソフトウェア:Word, Excel,  
PowerPoint、Outlook、OneNote、  
Publisher、Access、InfoPath、  
Lync、Visio Viewer

Standard版に含まれる  
ソフトウェア:Word, Excel、  
PowerPoint、Outlook、OneNote、  
Publisher

※1:単年度版は、使用期限を当該  
年度3月末日までとした製品です。  
年度の途中でいつご購入されても  
同じ金額になります。更新手続き  
可能です。

## Dream Spark Standard

(税込価格)

製品 カテゴリ	商品名	利用年数				
		単年度	1年	2年	3年	4年
プログラミング製品	Dream Spark Standard	8,640	8,640	17,280	25,920	34,560

## ■京都大学Microsoft包括ライセンス【個人利用ライセンス】価格表

(税込価格)

製品 カテゴリ	商品名	利用年数			
		1年	2年	3年	4年
Office 製品	Office 365 Education (Win/Mac)	1,296	2,592	3,888	5,184
OS 製品	Windows 8.1 Upgrade	3,240	6,480	9,720	12,960
	Windows 10 Upgrade	3,240	6,480	9,720	12,960

教職員・学生の方がプライベートで利用できる Office 365 Educationは、1ライセンスで5台のパソコン・5台のタブレット・5台のデバイスへのインストールが可能であり、従来製品と比較してかなりお得な価格設定となっておりますが、大学経費（公費）では購入できない点にご注意ください。

その他詳細につきましては、以下の京都大学生協同組合ホームページにて公開されています。

[http://www.s-coop.net/information\\_seikyo/017722.php](http://www.s-coop.net/information_seikyo/017722.php)

(企画・情報部情報推進課研究情報掛)

## マイナンバーの提供にご協力ください

### ■制度の概要

2016(平成28)年1月1日から税の手続きや雇用保険等の社会保障の手続きで個人番号(以下「マイナンバー」)の利用が開始されました。マイナンバーとは住民票を有するすべての方に通知される12桁の番号のことで、マイナンバーを活用することによって行政運営の効率化を図り、国民にとって利便性の高い、公平・公正な社会を実現することで、行政機関や地方自治体において迅速かつ確実な情報連携が可能になると言われています。

マイナンバーの取り扱いについては「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」)」で定められていますが、本学でマイナンバーの取り扱いをどのように行うのか、この場を借りてご説明いたします。

本学は事業者として個人情報保護委員会が作成したガイドラインに基づいてマイナンバーの取り扱いを行っています。これまで行政機関に提出する多くの書類は個人情報が含まれる重要なものでしたが、番号法に合わせて所得税法や雇用保険法も改正が行われ、各種提出書類にはマイナンバーを記載することが義務付けられました。マイナンバーが記載されることによって、これらの書類は特定個人情報としてさらに厳重に取り扱う必要があります。

また、行政を効率化し、国民の利便性を高めるために個人だけでなく法人にも13桁の法人番号が付与されています。法人番号はマイナンバーとは異なり、原則としてインターネットを通じて広く公開されており、自由に利用できるようになっています。

(参考) 国税庁法人番号公表サイト (<http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>)

### ■本学における収集について

#### ●収集対象者

本学との間で雇用関係があり給与の支給がある全ての職員の方が収集の対象となります。雇用関係のない方についても講演や翻訳をしていただき、本学から謝金を支給した方は収集の対象となります(謝金を支給した一部の方については収集対象外となる場合があります)。

なお、外国籍の方でも日本に住民票を有している方はマイナンバーが付与されていますので、収集の対象となります。反対に日本国籍を有していても長期海外出張等により住民票の転出手続きを行っているような方はマイナンバーが付与されていないので、帰国して住民登録を行うまでは収集の対象外となります。

また、税法上の扶養家族または健康保険上において扶養家族がいる方については、扶養家族のマイナンバーも収集が必要となりますので、併せてご提供をお願いいたします。

#### ●収集時期

採用予定者や退職予定者等、一部の職員の方のマイナンバーは、税務署やハローワークへの提出書類において必要となるため、既に収集を完了しております。

在職者の皆さまからは順次収集を実施し、本年9月頃までに収集を完了する予定としております。本学事務担当者から提供の依頼があった際には速やかにマイナンバーを提供いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

#### ●収集方法

本学所定の紙媒体の様式を本学事務担当者から送付させていただきます。同封しております説明書類に従って必要事項を記載していただき、以下の必要書類を同封して提出をお願いします。

##### ①本人確認書類

過去に本人確認の書類を提出いただいていることにより、今回新たな書類の提示は必要ありませんが、書類内容が現在と異なっている場合には証明書類の提供をお願いすることがあります。

②マイナンバーの記載された書類

「通知カード」(下記図1参照)の12桁の番号が記載されたおもて面のコピーをご提供ください。  
 「通知カード」がお手元になければ、「マイナンバーカード(個人番号カード)」「マイナンバーが記載された住民票の写し」「住民票記載事項証明書」※でも代用が可能です。

※住民票記載事項証明書については、マイナンバーのみの発行であれば無料で交付している自治体もありますので、交付を希望される際には事前に自治体の情報から確認をお願いいたします。



図1:通知カードのイメージ図

■行政機関への提出

提供いただいたマイナンバーは、原則として本学事務担当者から行政機関に提出いたします(一部の書類についてはご自身でマイナンバーを記載して行政機関へ提出していただく場合があります)。

分野	種類	区分	「マイナンバー」追加書類(例)	施行日
税	国税	給与所得	●給与所得の源泉徴収票	平成28年 1月1日 提出分～
		退職所得	●退職所得の源泉徴収票 ●退職所得の受給に関する申告書	
		報酬料金	●報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書	
	地方税	給与所得	●給与支払報告書	平成28年1月1日 提出分～
社会保障	雇用保険	適用関係	●雇用保険被保険者資格取得届 ●雇用保険被保険者資格喪失届	平成28年 1月1日 提出分～
		給付関係	●高齢雇用継続給付受給資格確認票・(初回)高齢雇用継続給付支給申請書 ●育児休業給付受給資格確認票・(初回)育児休業給付金支給申請書 ●介護休業給付金支給申請書	
	健康保険 厚生年金保険 共済組合	適用関係	●健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届 ●健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届 ●国民年金第3号被保険者関係届	平成29年 1月1日 提出分～
		給付関係	●出産手当金の支給の申請 ●高額療養費の支給の申請	

図2:行政機関に提出するマイナンバーの記載が必要となる書類

なお、税分野における提出書類は2016(平成28)年1月1日以降の支払いに係るものからが対象となりますので、税務署に提出する源泉徴収票は平成28年分からマイナンバーの記載が必要となります。

## ■マイナンバーの取り扱いと注意点

本学においてマイナンバーは、本学事務担当者以外は原則として取り扱いません。提供いただいたマイナンバー及び関係書類については厳重に取り扱い、マイナンバーは専用のデータベースサーバで管理いたします。

本学事務担当者から依頼があった際には速やかにご提供いただきますようご協力をお願いいたします。

参考URLの紹介

内閣府：http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/

総務省：http://www.soumu.go.jp/kojinbango\_card/index.html

文部科学省：http://www.mext.go.jp/a\_menu/kaikei/zeisei/1362172.htm

(中川 貴嗣：総務部人事課給与支給掛長)

## 便利機能紹介

### 自分好みのメニューを作ってみませんか？ (教職員ポータル・個人メニューのカスタマイズ)

昨年7月にリニューアルした教職員ポータルの便利な機能をご紹介します。

今回のリニューアルで「基本メニュー」と「個人メニュー」の構成にしました。「基本メニュー」は教職員の方の利用頻度の高いものを配置して変更いただけませんが、「個人メニュー」はご自身がよくお使いになるものを自由に設定することができます。

初期設定では、比較的アクセス数の多いものを配置していますので、下記の手順により、不要なページを削除したり、学内外のお気に入りのページを追加したりしてご活用ください。

ここでは紙幅の関係で、追加の手順(例:Google検索画面)をご紹介します。ご自身のお気に入りポータルとなるようにお試しください。

## ■追加手順

①個人メニューの「歯車」をクリックします。



②「追加」をクリックします。

◆お気に入り設定 (最大 20 個まで登録できます)

[\\*追加](#) [\\*参照](#) [\\*削除](#) [↑上へ](#) [↓下へ](#)

すべて選択

教務情報システム (KULASIS) 

教育研究活動データベース 

KULINE 

外部資金公募情報サイト「鎗」 

出張旅費システム 

職員録 

受付システム 

2次アドレス帳 

在職証明書発行システム 

KUMailストレージサービス 

e-Learning(研究費等の適正使用) 

e-Learning(情報セキュリティ) 

③タイトルとURL入力欄が表示されるので入力します。

例) タイトル: Google 検索画面

URL: <https://www.google.co.jp/>

◆お気に入り設定 (最大 20 個まで登録できます)

[\\*追加](#) [\\*参照](#) [\\*削除](#) [↑上へ](#) [↓下へ](#)

タイトル	<input type="text" value="Google検索画面"/>	<input type="button" value="設定"/>
URL	<input type="text" value="https://www.google.co.jp/"/>	

④入力後、「設定」ボタンをクリックすると、お気に入り一覧の一番下に追加されます。

◆お気に入り設定 (最大 20 個まで登録できます)

[\\*追加](#) [\\*参照](#) [\\*削除](#) [↑上へ](#) [↓下へ](#)

すべて選択

教務情報システム (KULASIS) 

教育研究活動データベース 

KULINE 

外部資金公募情報サイト「鎗」 

出張旅費システム 

職員録 

受付システム 

2次アドレス帳 

在職証明書発行システム 

KUMailストレージサービス 

e-Learning(研究費等の適正使用) 

e-Learning(情報セキュリティ) 

Google検索画面 

⑤次に「登録」ボタンをクリックすると、トップページの個人メニューに表示されるようになります。

- ⑥その他、リンクの削除、並べ替えについては、  
トップページの基本メニューにマニュアルを掲載していますので、ご参照ください。



## ■お問い合わせ

今後も、教職員ポータル(グループウェア)の利便性の向上に努めてまいりますので、ご意見・ご要望などお気軽に下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

情報環境機構電子事務局部門

e-mail: e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(赤塚 亮太:情報環境機構IT企画室/企画・情報部情報推進課電子事務局掛 主任)

## サービス紹介

### サーバ預かります – ハウジングサービス

データセンター化された学術情報メディアセンター北館で、部局や研究室が保有するサーバをお預かりするサービスです。まずはお気軽にご相談ください。

#### ■サービス種別

ラック持ち込み型

ラックの設置スペースとインフラ設備を提供します。

利用者の方はサーバと施錠可能なラックをご用意ください。

オープンラック型

情報環境機構が用意した19インチラックのうち「高さ10U」の区画とインフラ設備を提供します。区画ごとに施錠可能な扉を装備しています。

利用者の方はラックマウント型サーバなどを持ち込み利用できます。別途ラックを用意していただく必要はありません。

※製造から7年を超える情報機器は対象外となっています。

## ■利用料金(月額)

	ラック持ち込み型(ラック1本につき)	オープンラック型(1区画につき)
無停電計算機室	20,000円	10,000円
研究用計算機室	10,000円	5,000円
情報セキュリティ対策支援	10,000円(1サーバにつき)	
データバックアップ支援	5,000円(1サーバにつき)	
ネットワーク1ポート追加につき	1,000円/1Gbps	3,000円/10Gbps

※サーバの実測消費電力とその比率に応じた空調消費電力の電気料金は利用者負担

※サーバの導入・撤去, 保守管理の費用は利用者負担

## ■計算機室の設備

**無停電計算機室** データセンターの商用電源が停止した場合に、1分以内に自家発電機からの給電に切り替わります。最大72時間の電源バックアップが可能です。

### 各計算機室共通の設備

- ・ KUINS ネットワークスイッチ (1Gbps/10Gbps)
- ・ 分電盤 (100V/200V)
- ・ 空調機
- ・ 温湿度センサー



### 物理セキュリティ

- ・ 建物は24時間365日の有人管理
- ・ ICカード認証パネル
- ・ 防犯カメラ

## ■お問い合わせ

下記までメールでご連絡ください。

e-mail: whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

(企画・情報部情報基盤課クラウドコンピューティング掛)

## 参加報告

情報環境機構は京都大学の高度な研究及び教育活動を、情報技術を駆使して支援していますが、行っている活動が世界の高等教育機関での水準に比して、先進的なものであるのかどうかの状況把握が求められています。米国では2,000を超える大学・高等教育機関が参加するEDUCAUSEが、毎年高等教育機関における状況調査を行っていますので、京都大学もEDUCAUSEに参加することにしました。一方、日本特有の諸事情もあることから日本版EDUCAUSEの必要性を感じ、他大学関係者とともに協力し、2010(平成22)年大学ICT推進協議会(通称 AXIES)を発足させ、京都大学もこれに大きく貢献しました。

2015(平成27)年のEDUCASE、AXIESの年次総会へ職員を派遣しましたので、その参加報告を記載します。

## EDUCAUSE2015参加レポート

2015(平成27)年のEDUCAUSEは、2015(平成27)年10月27日からインディアナ州インディアナポリスで開催され、本学から美濃情報環境機構長、同IT企画室 梶田教授、企画・情報部情報推進課 山口課長、及び企画・情報部情報基盤課 片桐の4名が参加しました。

### ■EDUCAUSEとは

EDUCAUSEとは、情報技術の活用によって高等教育を進歩させることを使命とする米国のNPOで、現在約2,200の大学・企業等が加盟する米国最大級の高等教育機関の一つです。2007(平成19)年以降には我が国からも京都大学をはじめ複数の大学等が加盟しています。

このEDUCAUSEの年次大会には、毎年約7,000名程度が参加し、大学の枠や業務分野の枠を越えて、様々な情報を共有する場が形成されています。

### ■EDUCAUSE 2015

初日には「Research Data Management Using as a Service」に参加しました。アメリカの大学でも日本と同様、研究データの保存・共有・公開などが課題であり、Globusを用いたSaaSモデルのプロジェクトが紹介されました。これは、参加大学間で大容量の研究データを共有し公開するプラットフォームを提供するもので、大変興味を持てるものでした。



3日目には、「Risk Management through Security Planning」セッションに参加しました。高等教育機関は攻撃ターゲットであり今後もターゲットであり続けると考え、情報セキュリティを大学のリスクマネジメントとして考える重要性が説かれました。リスクに対処する情報セキュリティプランニングの整理など、参考となる取組が紹介されました。

4日間にわたるEDUCAUSEの年次大会中に「Preview 2016's Top10 IT Issues and Strategic Technologies」などたくさんのセッションに参加し、非常に参考となるものばかりでした。

2日目の夜には、Axies seminar in EDUCAUSEが開催されました。ここでは、日本から参加しているたくさ



んの方と知り合うことができ、交流することができました。後日名古屋でのAxies年次大会で再会し、さらに交流を深めました。この方々との出会いは、私の今後の大きな財産となることは間違いありません。

#### ■おわりに

今回のEDUCAUSE参加を通して、米国大学におけるユーザサービスの展開やICT活用におけるビジネスとの結びつきなど、日本より進んでいる点を目の当たりにしました。また人材育成や情報セキュリティ対策など、米国と日本で共通する課題も多くあることもわかりました。見るもの聞くもの全てが刺激的で、今後の業務に少しでも活かしていければと思います。

(片桐 統:情報環境機構IT企画室/企画・情報部情報基盤課セキュリティ対策掛長)

## AXIES年次大会参加報告、次回は京都で開催予定 ～大学のICT利活用の最先端がわかる～

### AXIES 大学ICT推進協議会

<https://axies.jp/ja/>

大学ICT推進協議会(Axies: Academic eXchange for Information Environment and Strategy)とは、「高等教育・学術研究機関における情報通信技術を利用した教育・研究・経営の高度化を図り、我が国の教育・学術研究・文化ならびに産業に寄与する」ことを目的とした組織で、現在の会長は本学の北野正雄理事です。そのAXIESの年次大会が、昨年12月2日から4日にかけて名古屋駅前のウイंकあいちを会場として行われました。AXIES年次大会では、基調講演・企画セッション・一般セッション・出展者セミナー・展示会が行われ、大学ICTに関わる情報を網羅できるような大会になっています。本学の情報環境機構は、展示会にブース出展を行い本機構の最新の取り組みを紹介しました。また、基調講演に登壇した美濃導彦機構長をはじめ、企画・一般セッションなどで多くの発表を行いました。



情報環境機構の展示ブース

#### ■展示会

写真は本学の展示ブースの様子です。機構内の各部門の取り組みをパネルで紹介し、情報環境支援センターが配布している各種パンフレット類(Info!創刊号・最新号も含まれます)も配布しました。また、現在開発中の「クライアント証明書発行システム」のデモを展示しました。これは将来オープンソースとして公開し、他大学における利用にも役立てて欲しいという狙いがあります。

他展示ブースも魅力ある展示が一杯でした。電子黒板や電子ペーパーといった授業の情報化に役立つデバイスから、e-Learningや学内業務を支援するソフトウェアまで、大学ICTに関わる企業各社の幅広い展示が行われました。また、本学と同様、各大学の情報分野での取り組みを紹介する展示も数多くあり、誰でも楽しめる展示会になっていました。



美濃機構長の基調講演

## ■基調講演

基調講演では、ノースカロライナ州立大学Marc Hoit教授および美濃機構長の講演が行われました。Hoit教授からは、アメリカの大学においてユーザ中心のサービスを提供する新しい取り組みの事例が紹介され、美濃機構長からは、京都大学のICT戦略と情報環境整備についての事例が紹介されました。

## ■企画・一般セッションおよび出展者セミナー

企画・一般セッションや出展者セミナーなどでは、大学ICTに関する話題の中でも先進的・特徴的な発表が行われました。特定の関心テーマがある場合は、これらのセッションやセミナーに参加することで有益な情報が得られます。

次回のAXIES年次大会は京都大学が幹事で、2016(平成28)年12月14日から3日間京都国際会館で開催されます。大学ICTの未来に関心のある方および大学でICTを利活用している教職員・学生は、是非ご参加いただければと思います。

参考 大学ICT推進協議会 URL:<https://axies.jp/ja/>

(森村 吉貴:情報環境機構システムデザイン部門 助教)

### 「クライアント証明書」

今日のインターネットでは、通信相手の正当性を確認するために「電子証明書」が良く利用されています。クライアント証明書とは、PC・タブレット・スマートフォンなどのコンピュータにインストールして電子的に本人確認ができる証明書です。クライアント証明書を利用することで、情報サービスを利用する際のパスワード認証が不要になる、あるいはEメール送信時に署名や暗号化などの機能が利用できるようになるなどの利点があり、セキュリティを高めることができます。

現在、NII(国立情報学研究所)の発行する「サーバ証明書」を利用することが可能ですが、それに加え、近日中に京都大学の構成員は個人向けの「クライアント証明書」を取得することが可能になります。京都大学では今後、無線LANサービスのKUINS-AirやPPTPなどのVPN接続での利用を計画しています。

## 講習会情報

情報環境機構では、利用者向けに各種の講習会を開催しています。3月から6月の開催予定は次のようになっています。申込み制になっているものについては、情報環境機構のWebサイトからお申し込みください。

講習会情報 URL: <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/whatsnew/event/>

開催日	講習会名	申込	定員	担当
3月25日(金曜日) 10:00~12:00	PandA利用講習会	必要	20名	教育支援
3月25日(金曜日) 13:00~15:00	PandA利用講習会	必要	20名	教育支援
3月28日(月曜日) 10:00~12:00	PandA利用講習会	必要	20名	教育支援
3月29日(火曜日) 13:00~15:00	PandA利用講習会	必要	20名	教育支援
4月4日(月曜日)~6日(水曜日) 各日9:30~12:00	全学機構ガイダンス(大学院生等対象)※	不要	-	支援センター
4月4日(月曜日)~6日(水曜日) 各日14:00~16:30	全学機構ガイダンス(学部生対象)※	不要	-	支援センター
4月15日(金曜日) 16:30~18:30	全学機構ガイダンス(留学生対象)※	不要	-	支援センター
5月13日(金曜日) 10:30~16:00	UNIX/Linux入門	必要	20名	研究支援
5月20日(金曜日) 10:30~16:00	Fortran入門	必要	20名	研究支援
5月26日(木曜日) 10:30~16:00	スパコン利用者講習会	必要	50名	研究支援
6月3日(金曜日) 10:30~16:00	XeonPhiプログラミング入門	必要	20名	研究支援

### ※全学機構ガイダンス

京都大学の新入学生に対して、京都大学での新しい勉学・研究生生活をスムーズにスタートできるよう、情報環境・図書館・環境安全保健に関わる全学機構組織が連携して行っているガイダンスです。大学でのネットワーク利用、コンピュータウイルス対策等の情報セキュリティ対策、研究論文検索等での図書館利用法、健康管理、エコ生活等、キャンパスライフに関わる大切な話が多く含まれています。内部進学の方も含めて、ぜひ参加するようお勧めください。

なお、4月15日(金)の留学生対象のガイダンスは英語で行います。

### ガイダンスの内容

#### 【情報環境: ネットワークの利用とセキュリティ】

京都大学の情報環境がどういうものか、どんなことができるのか、利用する上でどういうことに注意が必要なのか、情報環境を利用するための学生アカウント(ECS-ID)に関する注意事項など、包括的にお伝えします。

#### 【図書館の利用】

図書館が提供している電子ジャーナル、データベース、電子ブックなど電子リソースの適正な利用方法と注意点をはじめ、図書館の利用全般についてお伝えします。

#### 【環境・安全・保健】

大学生活が事故や健康障害によって台無しにならないよう、本学の事故の傾向やその対策、実験中の安全対策、京都大学のエコに対する取り組みなどについてお伝えします。

#### 【心肺蘇生・AED講習】

胸骨圧迫とAEDの使用法を、簡易の教材(あっぱくん)を使って体験しながら、心肺蘇生法によって命を救う術を学びます。

## セキュリティの話題から 第7回 『研究室・職場を離れる前の身辺整理、パソコンの中は大丈夫?』

研究室・職場を離れるとき、お使いのパソコンや保存しているデータの整理を忘れていませんか？

みなさんがお使いのパソコンは、退職や異動で今の研究室・職場を離れた後はどのように扱われるのでしょうか。後任の方に使用される、廃棄される、はたまた他の部署へ移管されるかもしれません。どのような扱われ方をするかは、あなたには分かりませんよね。そんなパソコンに、利用していた重要なデータやメール、重要なシステムのパスワードなどを保存したままにしておいたら…。

本コラムでは特集と連動して、研究室・職場を離れる際に注意すべきパソコンやデータの扱いをご紹介します。なお、学生の皆さんには、あまり関係ないと思われるかもしれませんが、研究室にある共用のパソコンなども同じです。

### ■STEP1

研究室・職場を離れる前にまずは、データの整理をしましょう。この場合、保存先は自身がお使いのPC内だけではなく、現在の研究室・職場での保存先全て(共有フォルダやネットワークストレージなど)で行います。観点は以下のとおり。

- ①現在の研究室・職場で引き続き必要とされるデータか否か。
- ②次の研究室・職場で必要なデータか否か。
- ③個人的に必要なデータか否か。

①で引き続き必要とされるデータは、「引継ぎ用データ」として一つの共有フォルダにコピーを保存し、現在の研究室・職場の他の方や後任の方に渡します。目次ファイルを作っておくと、親切ですね。

②および③で必要とされるデータは、「持ち出しデータ」として外部メディアにコピーを保存します。この場合、持ち出すデータは、必要に応じて持ち出し許可を必ず取ってください。

### ■STEP2

引継ぎ用データ、持ち出しデータをコピーしたら、あとはコピー元も含め全て「消すデータ」ということになります。全て削除しましょう。特に個人情報や機密情報は、データを再現できないように専用のツールなどで完全消去することをお勧めします。バックアップを別に採取している場合、そのバックアップデータもしっかりと削除しましょう。

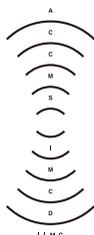
### ■STEP3

ここまで来れば、データは安心です。しかし、PC内には何らかのシステムのIDやパスワードが保存されているかもしれません。WEBのキャッシュなどもあります。個々に消すのは面倒なので、PCをクリーンインストールしてしまいましょう。仮に共用PCでクリーンインストールが不可能な場合は、そのPCの管理者の方にIDとプロファイル、ホームディレクトリを削除してもらいましょう。

「立つ鳥跡を濁さず」よく耳にする言葉です。研究室・職場を離れる人がご自身のPCとデータを身辺整理することは、情報漏洩リスクを減らすだけでなく、後々その研究室・職場に残っている人たちの負担を軽くします。

研究室・職場を離れる前にはPCとデータの身辺整理を！

(片桐 統：情報環境機構IT企画室／企画・情報部情報基盤課セキュリティ対策掛長)



京都大学情報環境機構  
Institute for Information Management and Communication,  
Kyoto University

編集・発行：京都大学情報環境機構  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
Webサイト <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/>

掲載記事に関するご質問やご意見・ご感想などありましたら、ぜひ下記までお寄せください。

【総合窓口】  
情報環境支援センター  
E-mail: [support@iimc.kyoto-u.ac.jp](mailto:support@iimc.kyoto-u.ac.jp)